

ゆんたく（言語室だよ）

2010年春号
発行 太田川病院言語室

なんか最近飲み込みにくくなった、よくむせるといったことはありませんか？
脳梗塞などにより、嚥下（飲み込み）の障害が生じてくる場合があります。
今回は、当院で行っている嚥下（飲み込み）の検査についてご紹介します。

嚥下造影検査（VF検査）



X線透視下で造影剤を含んだ食物を食べる・飲むことで嚥下に関する器官の動きや食べ物の通過状態を視覚的にみることができます。
飲み込みにくい、むせが多いなどの症状がみられる方で全身や意識状態が落ち着いている場合に検査を行なうことが可能です。

検査では、水分、半固形物（ヨーグルトやゼリー）、固形物（クッキーなど）を用いて、一口量、食事時の姿勢などを変えて飲み込みの状態をみます。①気管に食べ物が入っていないか（誤嚥）、②どの食べ物であれば安全か、③一口量はどれが適切か、④食べる時の姿勢はどれがよいか、⑤より飲み込みやすくするための方法はあるのか、⑥食べることによって身体機能の低下が起きないか、といったことを検討していきます。実際、食べ物が食道に入っていく状態を見ることができるためより多くの情報を得ることができます。



嚥下造影検査の映像

食べ物が口から
食道へ向かって
いる場面です！

反復唾液嚥下テスト（RSST）

口の中を湿らせた後、空嚥下（唾液以外が口の中に何も無い状態で飲み込む）を30秒間繰り返します。30秒間で2回以下が問題ありと判定されます。

*喉仏のところに指を当てて行なってみてください。当たった指のところが動くかどうか確認することでより飲み込んだことがよりわかりやすくなります。

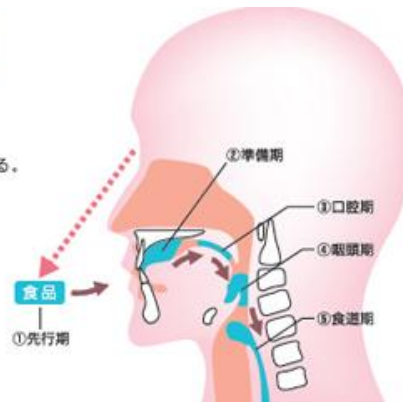


改訂水のみテスト

冷水を3ml嚥下します。その状態を以下の5段階で判定します。①嚥下なし、②嚥下あり、むせないが呼吸変化あり、③嚥下あり、むせるか湿性嘔声あり、④嚥下あり、むせない、湿性嘔声もない、追加嚥下2回不能、⑤④に加え、追加を指示し30秒以内に2回空嚥下可能、④以上なら3回施行し最も悪い嚥下を評価します。

摂食・嚥下のメカニズム

- ① 先行期：食品を視覚・嗅覚などから認識する。
- ② 準備期：食品を咀嚼し、飲み込みやすく加工する。
- ③ 口腔期：口腔から咽頭へ食物を送り込む。
- ④ 咽頭期：咽頭から食道へ食物を送り込む。その際、気道には入らない。
- ⑤ 食道期：食道から胃へ食物を送り込む。



トロメイクHPより引用

飲み込みのチェックポイント

嚥下障害があるかどうかはVF検査などの検査を行なうことが必要な場合もありますが、早期発見のためには日常の食事場でみられることを以下のチェックポイントで一度確認してみましょう。

食事の際のチェックポイント

- むせる
- 飲み込むときに上を向く
- 口から食べ物がこぼれる
- 食べ物が鼻から出てくる
- 飲み込むと違和感や痛みがある
- 食事時間が長い
- 食べると痰がからんだような声になる
- 食べた後に食べ物が口の中に残っている など

